



こんにちは！多摩川保育園です。日が落ちるのもすっかり早くなり、夕暮れ時には寒さが身に染みる季節となりました。今月は、園だよりに掲載した岩城敏之さんの本「主体性を育む保育」から抜粋したものをお伝えします。

大人にとって都合の良い子 主体性×自主性

自主性と自発性は自ら進んですることですが主体性とはどう違うのでしょうか。教育の方針として「主体性」を育てる事を大切にしますのでこの違いは重要です。簡単に説明すると自発性と自主性はする事が決まっています。「自発的に掃除をしましょう」とか、「自主的に練習しましょう」と使う言葉です。教育の中で大人が子どもに向かってこの言葉を使うときは気を付けないといけません。「大人が求めていることを指示を出す前にする、良い子どもを育てましょう」ということになります。「今の大人社会にとって都合の良い子どもを育てる」ことが目標になってしまいます。

大人が声に出して指示しなくても、以前に指示した事を自主的に自発的にする子どもを育てるだけになってしまいます。しかし、生活には子どもが望む望まないに関わらず、大人の指示に従ってやらないといけないことがあります。大人の指示が無くても汚れた手は洗って欲しいし、自発的にトイレのスリッパは並べて欲しいと思います。自主性や自発性は大切です。でもこれは主体性を育てる事と少し違います。これからの教育で大切なのは「主体性」です。

自分の幸せは自分で決める子 主体性=自分の人生の主人公は自分

自主性が「自主的に〇〇する」と言うのに比べて、主体性は「主体的に生きる」とか「主体的に取り組む」と使います。自主性や自発性にはする事が決まっていますが主体的にはなにをするのかも自分で決めるということです。私は主体性の意味を「自分の人生の主人公は自分」と考えると分かりやすいと思います。

「自分の感じ方で感じ」「自分の考え方で考え」「自分のやり方で行動する」ということです。そんな子どもを育てましょうということです。当たり前のことですが、改めて主体性を育てる事がこれから大切なのです。100人のうち99人が美味しいと言っても私は美味しくないと考えていいよ、ということです。何を美味しいと思ったり、何を素敵と思って時間を掛けたり、お金を掛けたりするのか、決めるのは私だよ。ということです。得意も不得意もあるけれど自分は自分で良い。ドジもへまも失敗もするけれど自分は自分らしく幸せに生きて良いんだ。良い子でないとダメと言うことはないんだ。と言う人生の根本を乳幼児期にしっかり育てる事です。それが主体性を育てる事です。

「体験保育のお知らせ」

予約制となっておりますので、興味のある方は保育園までお問い合わせください。ご来園の際は大人は1名でお願いしておりますので、ご了承ください。

《日程》

11月16日・30日（水）

12月14日（水）

《時間》

30分ほど一緒に遊ぶ時間を設けていますがクラスによって時間は異なります。

利用定員は1日1クラス1組までとなっております。早めのご予約をお願いいたします。



○お問い合わせ先

TEL：03-3758-3166

大田区多摩川2-24-63

多摩川保育園 子育て支援係